

発議第3号

令和4年度決算審議における事業評価に関する決議

上記の決議案を、別紙のとおり会議規則第14条第2項の規定により提出する。

令和5年9月27日提出

提出者 予算決算常任委員会

理由

いなべ市議会基本条例第3条第4号に基づき、予算決算常任委員会では、令和4年度各会計決算審議において、市が実施した42施策553事務事業が適正かつ公平・公正に執行されたかについて慎重に審査を行った。

中でも、基本事業名「安定給水の推進」、「災害に強いまちづくり」、「森林の適正管理の推進」、「地域に開かれた学校づくりの推進」、「保育サービスの充実」及び「男女共同参画の環境づくり」を選定し、活発かつ慎重に協議を重ね、事業の検証・評価を行った。その結果を別紙のとおり決議しようとする。

令和4年度決算審議における事業評価に関する決議案

令和4年度各会計決算審議を行った結果、次年度以降の予算編成にあたり、以下について議会の意見を提言すべく決議する。

事業名	安定給水の推進
分科会評価	良好である
事業に係る提言	現状のまま継続する
	<p>日常においても非常時も安定的に給水する本事業は、市民生活に欠かせないものである。</p> <p>新水道ビジョンに基づき、事業が計画的に進められ安定給水ができている。また、地域の水事情に合った対策、事業が実施されている。</p> <p>令和5年1月には凍結による漏水、断水などが起きた。このような事態への対応を今以上に用意する必要がある。</p>
事業名	災害に強いまちづくり
分科会評価	おおむね適正である
事業に係る提言	改善し継続する
	<p>住民の安心安全を確保するため、河川の維持修繕については、個別計画に基づいて着実に進められた。</p> <p>自主防災事業については、限られた予算の中での成果は見られた。自主防災など市民一人一人が、身近なところから災害に備えることは重要である。自主防災組織の役割や必要性の認識は出来つつあるが、市民の意識は低いのが現状である。人的確保や高齢化など、地域ごとの課題を行政が把握する必要がある。</p> <p>意識のある防災組織に対する助成は効果があるが、助成制度の周知や支援が不足している。居住する地域の災害の危険度・危険個所など、担当課とともに認識できるような事業として、さらに発展させることが必要である。</p>
事業名	森林の適正管理の推進
分科会評価	良好である
事業に係る提言	改善し継続する
	<p>近年の予期しない豪雨や獣害対策として、森林、特に里山の整備は市民の安全安心にかかわる重要な事業である。</p>

次ページへ続く

事業に係る提言	<p>地域の自主的な団体を支援し、整備するなどの取り組みは、地域に対する思い入れも醸成でき効果的である。</p> <p>危険木の除去や間伐など成果は上がっているが、基金本来の目的にふさわしくない事業が含まれている。基金事業は、他部署充当（いなべ公園マツ材線虫病防除）などは避け、里山整備事業など本来の目的に沿った活用とすべきである。</p>
事業名	地域に開かれた学校づくりの推進
分科会評価	良好である
事業に係る提言	<p>現状のまま継続する</p> <p>地域で子どもを見守る、育てるという事業は、共働きが進み、核家族化した現代には必要であり、学校がその中心となり事業を実施している。未来いなべ科、学援隊事業、コミュニティ・スクールの各事業を密接に関連づけ、それぞれの事業で地域との交流及び支援の機会を増やすとともに、支援内容の広がりを図り、特色ある学校づくりを推進している。</p> <p>コミュニティ・スクールを全小中学校に設置し、予算化したことは評価する。成果指標を学援隊数から「学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動に取り組んでいる学校数」に変更したことに工夫が見られる。</p> <p>計画、ビジョンには見合っているが、コミュニティ・スクールが事業にどう寄与していくかは未知数であり、今後は中身を構築する必要がある。効率・効果については今後の課題である。</p> <p>計画、ビジョンには見合っているが、コミュニティ・スクールの全校の整備が完了したばかりで、今後、「地域に開かれた学校づくりの推進」にどう寄与していくかは、中身の構築次第である。効率・効果についても、十分に留意しながら、各地域と連携強化を図り、構築してほしい。</p>
事業名	保育サービスの充実
分科会評価	良好である
事業に係る提言	<p>改善し継続する</p> <p>笠間保育園の火災後、翌日から分散保育で保育を継続できたこと、仮設園舎をすみやかに建設し令和4年度卒園式を園児が一堂に会し挙行できたことは、大いに評価する。</p> <p>保育士の働き方改革の一環で、令和4年度はICT化を導入し保育士の業務負担軽減が図られたこと、保育士の配置について、国の基準では足りないと認識しているため、市単独予算を使って手厚くしていることも評価する。</p> <p style="text-align: right;">次ページへ続く</p>

	<p>また、社会福祉協議会に任せることにより、国の補助金を見える化できている。ただし、私立化することが、保育士確保、質の維持にとって必ずしも良いとは言えないため、私立化については様々な見地から検討されたい。</p> <p>保育士不足の対応について工夫がみられないため、保育士確保の実効性のある対応をされたい。また、保育園の送迎バス運行事業について市民ニーズを充分把握していないため、廃止についてはニーズの把握に努めていただきたい。</p> <p>今後も、多様化する保育ニーズに対応できるよう、保育サービスの提供体制を整備されたい。</p> <p>放課後児童クラブについては、三里小学校校区では令和6年度に待機児童が発生する可能性があるため、クラブ運営者と協議し、早急に対応されたい。「民設民営」という今までのあり方、各クラブの質の担保等の視点から、市の関わり方を見直す時期が来ていると考えるため、今後検討が必要である。</p>
事業名	男女共同参画の環境づくり
分科会評価	問題がある
事業に係る提言	<p>改善し継続する</p> <p>令和4年2月に公表された「男女共同参画に関する市民・事業所アンケート調査結果報告書では、市として取り組むべきこととして「仕事と家庭・地域活動を両立できる環境の整備」が最も多く、次いで「育児や介護を支援する施設や体制の整備」となっている。これらの調査結果が事業にどう反映されているのか確認できず、独自の工夫も見られない。また、同アンケートでは、複数の項目が前回調査と比較して、全体・男性・女性ともに『男性優遇』が増加となっている項目も見られ、事業の成果があるとは言えない。</p> <p>成果指標である「審議会等における女性の登用率」も長年目標数値に達していない。</p> <p>新たな男女共同参画第4次推進計画が、第3次推進計画と比較し内容が多岐にわたり充実していることは評価する。今後、第4次推進計画を確実に実行するために、庁内の体制を強化されたい。</p>

令和5年9月27日

いなべ市議会